

効率的な財政運営を！

（予算審査特別委員会）

3月議会は20年度予算の審査を行う重要な会議です。予算審査の方法は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（小野幸宣委員長、安倍静夫副委員長）を置き、3月10日から17日までの6日間の日程で審査されました。審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。本特別委員会での主な質疑は次のとおりです。

総務部

質問 20年度決算から地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行となるが、連結実質赤字比率が奥州市はプラスマイナス0と試算されているので一応安心していい。基準を示して市民の皆さんを安心させるべきと思うが。

答弁 平成20年度決算からであるが、基本的にはすべて公表されるもの。市民の皆さんに分かりやすく公表していく。

質問 予算編成の基本的考え方にについて、新市建設計画あるいはマニフェスト、市民アンケートがどの様に反映されているか。

答弁 新市建設計画については、合併の際に約束事項であり、きつ

ちりと入れている。マニフェストについても市長の方針ですので入れている。市民アンケートをどう反映されたかという事について、総合政策で要望の多い子育てとか、医療関係が重点的に入っている。

質問 入札制度の見直しについて、21年度から統一になるのか。指名入札制度については、どの様に考えているのか。

答弁 入札制度について合併時の協議事項によって当分の間、従前どおり運用をしている。入札制度における透明性や競争性の確保とコスト削減を図るため、一般競争入札とか電子入札の導入を鋭意検討していかなければいけないというふうに考えている。現在のところ、市内業者の格付が一本化され

て、ばらつきのある発注区分を調整して統一することができるとなどの条件を整えながら、この入札制度の改善に向かっていく必要があると考えている。

質問 賦課徴収事務に係わり、滞納者の生命保険を差押えするという実態について。

答弁 基本的に差押え、競売は粛々とやっていく。払える能力のある方で払わない人については差押えするのが方針。生命保険も財産であり現在51件差押えしている。分納相談にこない人等で、本人の生活を考慮しながら対応している。

質問 納税貯蓄組合補助金が計上されているが納期内納付、年度内納付の交付基準について。

答弁 納税組合連合会より要請のあった年度内納付について、合併協議の中では納期内納付のみの対象であったが、納税率向上のため年度内納付も交付対象とし、納期内納付の半分を加算する事に交付基準を見直した。

総合政策部

質問 世界遺産の登録記念事業関係の祝賀イベントについて。

答弁 世界遺産の登録が実現した場合には、平泉の文化遺産に関係する市と町、県が一緒になって展開する事業と、市独自で展開する事業とがある。具体的な事業の展開については、関係する部署の中で住民の方々の参画をいただく中で考えていきたい。祝賀については登録発表直後に白鳥館、長者ヶ原両方について、みんなで喜びを分かち合い、お祝いするかたちにしたい。市民として共有する中でこの登録の喜びを全国に発信して行きたいと考えている。

質問 バス運行について、前沢区では以前に循環型定時発着型方式の町民バスで、診療所や前沢温泉等に利用でき、デマンド交通方式になり利用する方々から使いづらいことで改善を何回か要望されているが。

答弁 民間の人も入った交通会議の立ち上げを去年の6月にしており、内部の検討組織も立ち上げている。20年度に交通体系運行体系をどうして行か、検討を進める事になっている。20年度中にはきちんと方向を出したいと考えている。

